

# 水源の町、七ヶ宿の水源地を守る取組が今年もスタートしました!!

昨年、「農業と自然環境のバランスがとれた、安心安全な食の供給に適した環境の地域」として、環境王国の認定を受けるなど、自然環境の良さが認められているところですが、春になって行われた、環境保全といわれる活動をピックアップしました。

## 水源地を守る取組その1

5月11日に、湯原小学校の学習田でカキ殻の散布が行われました。田植えを前に土壌改良の目的で行われたもので28名の全校児童と、学習田の隣にある湯原保育所の園児7名もお手伝いをし、計35名で作業に取り組みました。

カキ殻は石灰や窒素、リン酸、カリウムなどミネラル分



▲梅津さんの説明を聞く児童たち

が多く含まれ、土壌改良効果が高く、おいしい米作りにも効果があるといわれています。当日は、「七ヶ宿源流米ネットワーク」の梅津賢一さんから会員から指導を受け、5アールの学習田にカキ殻50キロをあっという間に散布しました。湯原小学校での水稲栽培は毎年行われていますが、昨年



▲楽しくカキ殻を散布

## 水源地を守る取組その2

小学校として、水稲の新品種「やまのしずく」の栽培に取り組みしており、学習田での米づくりをおして「環境保全」と「循環型農業」の大切さを学習しています。

5月23日に、湯原地区柳沢の水田でサツポロビールと源流米ネットワークのメンバーによる田植えが行われました。「なぜサツポロビールが七ヶ宿で田植えを？」と思われる方もいると思いますが、昨年の源流米ネットワークを中心にした、七ヶ宿の環境保全水稲栽培の取組を見たサツポロビールから、「七ヶ宿ダムの水を利用してビールを製造している私達にも、七ヶ宿で取り組む環境保全活動はとても



▲田植機の運転も余裕の表情

今回のサツポロビールとの交流は、食の安全という附加価値をつけた農産物の販売に可能性を抱かせるものであります。水源地の環境を守る取組を下流域の住民と一緒に、今後の展開が非常に楽しみです。



▲補植を行なう社員のみなさん

## 水源地を守る取組その3

18回目を迎えた東日本放送グリーンキャンペーン「七ヶ宿水源文化の森づくり」が、4月29日に柏木山（長老湖近く）で開催されました。仙台



▲家族での参加、大きく育ってね

からバス2台に分乗してやってきた親子連れなど72名の参加者は、七ヶ宿町内の緑の少年団など70名と一緒にオオヤマザクラやコナラなど1860本の苗木を1時間ほどかけて植樹をしました。未来の子供たちに緑豊かな森を残したい、自分たちの命の源である大切な水源を守りたい、という願いから東日本放送では、平成4年から七ヶ宿ダムの上流に広葉樹の苗木を植える活動に取り組んでいます。今までに20ヘクタール、48、120本の植樹が行われています。



▲不忘山をバックに植樹をする参加者のみなさん

## 水源地を守る取組その4

NPO法人水守の郷・七ヶ宿では、水源地の環境を守り、持続可能な未来づくりにつながる、つながる活動を行っています。今年も水源地のゴミゼロキャンペーンを開催します。昨年はゴミを捨てない標語募集を行いました。今年にはゴミ箱デザインコンテストを行います。自然にとけ込む景観、ゴミ分別、ゴミ減量など、環境保全の願いを込めたメッセージを入れるなど、七ヶ宿の自然景観に配慮したゴミ箱のデザインコンテスト



▲町内の至る所に見られるゴミの不法投棄

です。優秀作品は、7月26日に開催される木工教室で製作してもらいます。完成したゴミ箱は、七ヶ宿ダム上流の自然散策路に設置されます。

### 応募方法

- ①ゴミ箱のデザイン又は図面
- ②氏名、住所、電話番号、年齢を記入のうえ郵送してください。

●応募締め切り 7月20日必着

●発表 7月31日

●お問い合わせ・郵送先

〒989-10532

七ヶ宿町字根添26番地1

NPO法人水守の郷・七ヶ宿

電話・FAX

0224-37-2171

HP [www.nizunori7.org](http://www.nizunori7.org)